

東京都立世田谷泉 高等学校 令和5年度 教科： 芸術 科目： 音楽Ⅰ

教科： 芸術 科目： 音楽Ⅰ 単位数： 2 単位

対象年次・講座：第1 年次 I部：① II部：② III部：③

教科担当者： ① ② ③ ④ ⑤ ⑥

使用教科書：（音楽Ⅰ Tutti+ ）

- 教科 芸術 の目標：
- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景等との関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じたことに関わりについて考え、どのように表すかについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
		歌	器	創						
A 未知なる音楽の世界を求めて 【知識及び技能】 基本的な姿勢や呼吸等の身体の使い方を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の雰囲気を感じながら自己のイメージをもって歌う。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱活動に取り組む。	・オリエンテーション ・校歌 ・歌声づくりのエクササイズ ・J-POP「君に届くまで」 「優しい子」 ・8声のカノン ・季節の歌 等	○				【知識及び技能】 基本的な姿勢や呼吸等の身体の使い方を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の雰囲気を感じながら、自己のイメージをもって歌っている。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
B ギターでメロディーを弾こう 【知識及び技能】 ギターの奏法や特徴について知る 【思考力、判断力、表現力等】 タブ譜を見て演奏し、曲のイメージをもって演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】 演奏を楽しみながら主体的に練習に取り組もうとする。	○ギター ・音階、メロディー演奏 ・色々なギター奏法について		○		○	【知識及び技能】 ギターの奏法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分でタブ譜を見て演奏し、イメージをもって演奏しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 演奏を楽しみながら主体的に活動しようとしている。	○	○	○	8
C 日本歌曲を歌おう 【知識及び技能】 音楽の構造や歌詞との関わりについて理解しようとする。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、曲の雰囲気を感じて歌おうとする。 【学びに向かう力、人間性等】 日本語の抑揚と旋律の流れの関係に関心をもち、取り組む。	○日本の歌曲 「この道」「椰子の実」	○			○	【知識及び技能】 音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、曲の雰囲気を感じて歌おうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 日本語の抑揚と旋律の流れの関係に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
D 西洋音楽の源流を耳でたどろう 【知識及び技能】 音楽の構造や音階の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解しようとする。 【思考力、判断力、表現力等】 旋法の特徴や雰囲気を感じて、音楽のよさを味わうと共に旋律を作る。 【学びに向かう力、人間性等】 中世からルネッサンスの音楽の文化・歴史的背景に関心をもち、主体的に鑑賞や創作に取り組もうとする。	○西洋音楽の源流 ・色々な音階 ・旋法を使った創作 ・西洋音楽史	○		○	○	【知識及び技能】 音楽の構造や音階の特徴、歴史的背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 旋法の特徴や雰囲気を感じて、創作をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 中世からルネッサンスの音楽の文化・歴史的背景に関心をもち、主体的に鑑賞や創作に取り組んでいる。	○	○	○	4
E イタリアの民謡や歌曲 【知識及び技能】 言葉の特性に応じた発声や表現上の効果について理解しようとする。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、その特質や雰囲気を感じながらイメージをもって歌おうとする。 【学びに向かう力、人間性等】 イタリア語の言葉の特性や表情豊かに歌うことに関心をもち、主体的に歌唱に取り組もうとする。	○イタリア語の歌 ・カンツォーネ 「我が太陽」「Santa Lucia」 「Caro mio ben」	○			○	【知識及び技能】 言葉の特性に応じた発声や表現上の効果について理解しようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、その特質や雰囲気を感じながらイメージをもって歌おうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 イタリア語の言葉の特性や表情豊かに歌うことに関心をもち、主体的に歌唱に取り組もうとしている。	○	○	○	5

<p>F 物語と音楽との関わりに注目しよう</p> <p>【知識及び技能】 オペラ等の総合芸術の特性や歴史的背景について知ろうとする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歌い方の特徴や雰囲気を感じながら曲全体の中でどのような役割をしているかイメージをもって鑑賞しようとする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているのか、主体的に取り組もうとする。</p>	<p>○西洋の総合芸術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オペラ「魔笛」またはミュージカル 				○	<p>【知識及び技能】 オペラ等の総合芸術の特性や歴史的背景について知ろうとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歌い方の特徴や雰囲気を感じながら曲全体の中でどのような役割をしているかイメージをもって鑑賞しようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているのか、主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
<p>G リズムを体で表現しよう</p> <p>【知識及び技能】 様々なリズムの表現の仕方を知り、拍子に合わせて表現しようとする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 リズム、速度、強弱等を知覚し、全体のバランスを考えて表現しようとする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 体の様々な部位を使って音色や構成を工夫して創作し、協力して演奏する。</p>	<p>○リズムを楽しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーブル・ミュージック ・ボディーパーカッション「Wind from the south」 	○	○			<p>【知識及び技能】 様々なリズムの表現の仕方を知り、拍子に合わせて表現しようとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 リズム、速度、強弱等を知覚し、全体のバランスを考えて表現しようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 体の様々な部位を使って音色や構成を工夫して創作し、協力して演奏している。</p>	○	○	○	4
<p>H 古の音楽に思いをよせよう</p> <p>【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解しようとする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 雅楽の特質や雰囲気を感じながら、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴こうとする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 雅楽の楽器の音色や奏法、楽器の構造、管弦の響きに関心をもち、主体的に取り組もうとする。</p>	<p>○日本の音楽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雅楽 他 				○	<p>【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 雅楽の特質や雰囲気を感じながら、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴こうとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 雅楽の楽器の音色や奏法、楽器の構造、管弦の響きに関心をもち、主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	3
<p>I ドイツ歌曲の魅力</p> <p>【知識及び技能】 言葉の特性に応じた発声や表現上の効果について理解しようとする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、その特質や雰囲気を感じながらイメージをもって歌おうとする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ドイツ語の言葉の特性や表情豊かに歌うことに関心をもち、主体的に歌唱に取り組もうとする。</p>	<p>○ドイツ歌曲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの「野ばら」 ・西洋音楽史 	○	○			<p>【知識及び技能】 言葉の特性に応じた発声や表現上の効果について理解しようとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、その特質や雰囲気を感じながらイメージをもって歌おうとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ドイツ語の言葉の特性や表情豊かに歌うことに関心をもち、主体的に歌唱に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
<p>J ギターで弾き語りしよう</p> <p>【知識及び技能】 コードについて知り、左指の位置を覚える。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 曲のイメージをもち、拍子にのった演奏をする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 コード演奏を楽しみながら弾き語りをする。</p>	<p>○ギター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードについて ・コード演奏 ・弾き語り 	○	○			<p>【知識及び技能】 コードについて理解し、左指でコードを押さえることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 メロディーにのって、コードを演奏している。また、強弱やリズム等、曲想を考えて演奏している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 コード演奏を楽しみながら主体的に練習し、弾き語りしようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>K オーケストラ魅力</p> <p>【知識及び技能】 曲想や表現上の効果と音楽の権言うとの関わりについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、強弱、構成等を知覚し、特質や雰囲気を感じ、音楽のよさや美しさを味わって聴こうとする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 オーケストラの様々な楽器の音色や響き、ボレロのリズムの繰り返しや2つの旋律の組み合わせの効果に関心をもち、主体的に取り組もうとする。</p>	<p>○オーケストラの曲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バレエ音楽「ボレロ」等 			○		<p>【知識及び技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、強弱、構成等を知覚し、特質や雰囲気を感じ、音楽のよさや美しさを味わっている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 オーケストラの様々な楽器の音色や響き、ボレロのリズムの繰り返しや2つの旋律の組み合わせの効果に関心をもち、主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	3

後期	L ピアノの歩みとその音楽 【知識及び技能】 時代と共に変化したピアノの特徴やピアノ曲との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の雰囲気を感じながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴こうとする。 【学びに向かう力、人間性等】 時代と共に変化したピアノに応じてピアノ曲の可能性も広がったことに関心を持ち、主体的に取り組もうとする。	○さまざまな時代のピアノ曲 ・ピアノの歴史 ・西洋音楽史			○ 【知識及び技能】 時代と共に変化したピアノの特徴やピアノ曲との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の雰囲気を感じながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 時代と共に変化したピアノに応じてピアノ曲の可能性も広がったことに関心を持ち、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	3
	M 混声合唱を美しく響かせよう 【知識及び技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。また、他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴を生かして歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の特質や雰囲気を感じながら、イメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもとうとする。 【学びに向かう力、人間性等】 他者との調和を意識して歌うことや、曲想や歌詞への内容を理解しながら歌唱表現を創意工夫することに関心を持ち主体的に取り組もうとする。	○混声合唱 ・「南海譜」他	○		○ 【知識及び技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。また、他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴を生かして歌っている。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の特質や雰囲気を感じながら、イメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 他者との調和を意識して歌うことや、曲想や歌詞への内容を理解しながら歌唱表現を創意工夫することに関心を持ち主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	N 総合芸術における音楽の魅力 【知識及び技能】 日本の伝統芸能の特徴について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の総合芸術特有の表現の仕方を感じ、イメージをもって鑑賞しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 物語や言葉と音楽の関わりや他の文化が互いにどのように影響を及ぼして発展してきたかに関心を持ち、主体的に取り組もうとする。	○日本の総合芸術 ・歌舞伎「勸進帳」または文楽「国姓爺合戦」			○ 【知識及び技能】 日本の伝統芸能の特徴について知ろうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の総合芸術特有の表現の仕方を感じ、イメージをもって鑑賞しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 物語や言葉と音楽の関わりや他の文化が互いにどのように影響を及ぼして発展してきたかに関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	O 世界のさまざまな音楽の魅力 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりや特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の諸民族の様々な音楽表現の多様性を捉え、それぞれの音楽が生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽のよさや美しさを味わって聴こうとする。 【学びに向かう力、人間性等】 諸民族の楽器や声の音楽に関心を持ち、日本民謡の比較を通して固有性、共通性を考えようとする。	○世界のさまざまな音楽 ・アジアの音楽 ・世界の声の音楽 ○日本の民謡			○ 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりや特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の諸民族の様々な音楽表現の多様性を捉え、それぞれの音楽が生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽のよさや美しさを味わって聴こうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 諸民族の楽器や声の音楽に関心を持ち、日本民謡の比較を通して固有性、共通性を考えようとしている。	○	○	○	4
	P リズムを楽しむ 【知識及び技能】 ポディーパーカッションのコツを覚え、拍子によってリズム表現をする。 【思考力、判断力、表現力等】 リズム、強弱、構成を知覚し、どのように表現するかイメージをもって演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】 他のパートとの関わりも考えながら、曲全体がバランスよくまとまるように協働的に活動に取り組もうとする。	○ポディーパーカッション ・Hit the Beat		○	○ 【知識及び技能】 ポディーパーカッションのコツを覚え、拍子によってリズム表現をしている。 【思考力、判断力、表現力等】 リズム、強弱、構成を知覚し、どのように表現するかイメージをもって演奏している。 【学びに向かう力、人間性等】 他のパートとの関わりも考えながら、曲全体がバランスよくまとまるように協働的に活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
合計									
78									

東京都立世田谷泉 高等学校 令和5年度 教科： 芸術 科目： 音楽Ⅱ

教科： 芸術 科目： 音楽Ⅱ 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 2～4 年次 ① ②

教科担当者： ① ② ③ ④ ⑤ ⑥

使用教科書： (音楽Ⅱ Tutti+)

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個性豊かな音楽表現を創意工夫できるようにするために、必要となる技能を身に付け高めることができるようにする。	音や音楽を知覚・感受し、思考・判断する過程を充実させ、音楽を評価しながら、そのよさや美しさを深く味わって聴く力を高める。	音や音楽と生活や社会とのかかわりについて考え、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度や、音や音楽の良さや美しさなどを自ら進んで感じ取ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
A オリエンテーション、J-POP 【知識及び技能】他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表現する。 【思考力、判断力、表現力等】個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	○「Pretender」 ○「見上げてごらん夜の星を」 ○「Hum With Me..」 ○季節の歌 ◆Review of Basics①② ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人1台端末	○		○	【知識及び技能】 他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。		○	○	○	6
B アヴェ・マリア、西洋音楽史 【知識及び技能】音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わう。 【学びに向かう力、人間性等】文化的・歴史的背景との関わりを理解しながら比較鑑賞する学習に関心をもつ。	◆様々な時代の作曲家による歌曲や合唱曲の「アヴェ・マリア」 ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人1台端末	○		○	【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わっている。 【学びに向かう力、人間性等】 文化的・歴史的背景との関わりを理解しながら比較鑑賞する学習に関心をもっている。		○	○	○	6
C アルトリコーダー、アンサンブル 【知識及び技能】曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他社との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表す。 【思考力、判断力、表現力等】個性豊かに器楽表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】楽器の奏法を身に付けることや音楽ひょうげんを創意工夫しながらアンサンブル活動をするに関心をもつ。	リコーダー二重奏 □「Down by the sally gardens」 □「交響曲第1番」から第4楽章 □カノン集 ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人1台端末	○		○	【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わっている。 【学びに向かう力、人間性等】 文化的・歴史的背景との関わりを理解しながら比較鑑賞する学習に関心をもっている。		○	○	○	10
D 日本歌曲 【知識及び技能】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け歌唱で表現する。 【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受する。 【学びに向かう力、人間性等】日本語の言葉の特性を捉えながら自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することに関心をもつ。	○「からたちの花」 ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人1台端末	○		○	【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わっている。 【学びに向かう力、人間性等】 文化的・歴史的背景との関わりを理解しながら比較鑑賞する学習に関心をもっている。		○	○	○	4
E 日本の音楽、音風景 【知識及び技能】日本の音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】日本の音楽の響き、楽器の音色や奏法、構造などに関心をもつ。	◆日本の音楽 ◎箏曲「六段の調」 ◆日本の音風景～四季の音楽～ ◎「春の海」/雅楽「春庭花」 ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人1台端末			○	【知識及び技能】 日本の音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の音楽の響き、楽器の音色や奏法、構造などに関心をもっている。		○	○	○	6

	<p>F イタリア歌曲 【知識及び技能】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け歌唱で表現する。 【思考力、判断力、表現力等】個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】イタリア語の言葉の特性を捉えながら自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することに興味をもつ。</p>	<p>○「Piacere d'amor」 ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人1台端末</p>	○	○	<p>【知識及び技能】日本の音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】日本の音楽の響き、楽器の音色や奏法、構造などに関心をもっている。</p>	○	○	○	4
	<p>G オーケストラの音楽 【知識及び技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】オーケストラの様々な楽器の音色や響きによる表現上の効果と、主題の展開や再現などの音楽の構造との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。</p>	<p>◆交響曲の仕組み ◎交響曲第40番ト短調K.550 ◆モーツァルトと交響曲 ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人1台端末</p>		○	<p>【知識及び技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】オーケストラの様々な楽器の音色や響きによる表現上の効果と、主題の展開や再現などの音楽の構造との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>				4
	<p>H ヴォイス・アンサンブル 【知識及び技能】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け歌唱で表現する。 【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの動きを感じる。 【学びに向かう力、人間性等】日本語の言葉の特性を捉えながら自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することに興味をもつ。</p>	<p>○「ほたるこい」 ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人1台端末</p>	○	○	<p>【知識及び技能】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け歌唱で表現している。 【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの動きを感じるようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】日本語の言葉の特性を捉えながら自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することに興味をもっている。</p>	○	○	○	4
	<p>I 三味線 【知識及び技能】曲想と楽器の音色や奏法との関わり、伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】個性豊かに器楽表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】日本の楽器の奏法を学び、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。</p>	<p>◆和楽器のしらべ □三味線「松の緑」 ◆日本音楽の流れ ◆音楽史と史実 ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人1台端末</p>	○	○	<p>【知識及び技能】曲想と楽器の音色や奏法との関わり、伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】個性豊かに器楽表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】日本の楽器の奏法を学び、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>J ドイツ歌曲 【知識及び技能】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け歌唱で表現する。 【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの動きを感じる。 【学びに向かう力、人間性等】ドイツ語の言葉の特性を捉えながら自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することに興味をもつ。</p>	<p>○「歌の翼に」 ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人1台端末</p>	○	○	<p>【知識及び技能】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け歌唱で表現している。 【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの動きを感じるようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】ドイツ語の言葉の特性を捉えながら自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することに興味をもっている。</p>	○	○	○	4
	<p>K オペラ、ミュージカル 【知識及び技能】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、他の芸術との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】音楽と他の文化が互いにどのように影響を合せて発展してきたかに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。</p>	<p>◎「トゥーランドット」 ○「Nessun dorma」 ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人1台端末</p>	○	○	<p>【知識及び技能】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、他の芸術との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】音楽と他の文化が互いにどのように影響を合せて発展してきたかに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
後期	<p>L 混声合唱 【知識及び技能】他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表現する。 【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの動きを感じるながら、知覚したごとと感受したことの関わりについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】曲想が作品の作られた背景や作曲者の思いによってもたらされていることを理解しながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫することに興味をもつ。</p>	<p>混声三部合唱 ○「たからもの」 ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人1台端末</p>	○	○	<p>【知識及び技能】他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表現している。 【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの動きを感じるながら、知覚したごとと感受したことの関わりについて考えている。 【学びに向かう力、人間性等】曲想が作品の作られた背景や作曲者の思いによってもたらされていることを理解しながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫することに興味をもっている。</p>	○	○	○	8

<p>M 名曲プレゼンテーション</p> <p>【知識及び技能】他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表現する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの動きを感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】曲想が作品の作られた背景や作曲者の思いによってもたらされていることを理解しながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫することに興味をもつ。</p>	<p>◆名曲プレゼンテーション～演奏家と楽器が生み出す音楽の魅力～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識理解教材（自作プリント等）【紹介文、鑑賞ノート】 ・一人1台端末 				<p>【知識及び技能】</p> <p>他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表現している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの動きを感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>曲想が作品の作られた背景や作曲者の思いによってもたらされていることを理解しながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫することに興味をもっている。</p>	○	○	○	4
<p>N 世界の音楽</p> <p>【知識及び技能】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】世界の諸民族の声の音楽から音楽表現の多様性を捉えることや、固有性、共通性を考えることに興味をもつ。</p>	<p>◆世界の声の音楽、楽器の音楽</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ジョーシアの男性合唱 ◎ポリネシアのヒメネ ◎ドゥルバド ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人1台端末 	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <p>言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>世界の諸民族の声の音楽から音楽表現の多様性を捉えることや、固有性、共通性を考えることに興味をもっている。</p>	○	○	○	4	
									78

東京都立世田谷泉 高等学校 令和5年度 教科： 芸術 科目： 美術Ⅱ

教科： 芸術 科目： 美術Ⅱ 単位数： 2 単位

対象年次・講座：第1 年次 I部：① 2～4年次 II部：② 2～4年次 III部：③ 2～4年次

教科担当者： ① ② ③ ④ ⑤ ⑥

使用教科書： (美術2 (光村図書))

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ ザ イ ン	映						
前 期	表現/鑑賞 デザイン：Tシャツ制作 【知識及び技能】 シルクスクリーンの技法や道具の扱い方を理解し表現させる【思考力、判断力、表現力等】 主題にあった構想を練り、それを基にデザイン案を描かせる【学びに向かう力、人間性等】 授業を振り返り、課題と成果をみつけて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてさせる	【指導項目】【教材】使用用途を考えさせ、アイデアを構想させる。シルクスクリーンの技法を用いて、Tシャツに印刷させる。Tシャツ、インク、木枠、カットティングシート、スキージ 【一人一台端末の活用】 既存のTシャツデザインを端末で調べさせる	○			○	【知識・技能】シルクスクリーンの技法や道具の扱い方を理解し表現できている 【思考・判断・表現】 主題にあった構想を練り、それを基にデザイン案を描いている 【主体的に学習に取り組む態度】 授業を振り返り、課題と成果をみつけて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてている	○	○	○	20
	表現/鑑賞 絵画：絵巻物制作 【知識及び技能】 絵巻物や道具の扱い方を理解し表現させる【思考力、判断力、表現力等】 主題にあった構想を練り、それを基に絵巻物を描かせる【学びに向かう力、人間性等】 授業を振り返り、課題と成果をみつけて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてさせる	【指導項目】【教材】顔彩、胡粉、膠、筆などの日本画の道具に触れ、独創的な物語を構想し、絵巻物に描かせる 顔彩、胡粉、膠、筆、絵巻物台紙 【一人一台端末の活用】 国会図書館データベースにアクセスし、絵巻物を鑑賞する	○			○	【知識・技能】 絵巻物や道具の扱い方を理解し表現できている 【思考・判断・表現】 主題にあった構想を練り、それを基に絵巻物を描いている 【主体的に学習に取り組む態度】 授業を振り返り、課題と成果をみつけて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてている	○	○	○	20
後 期	表現/鑑賞 彫刻：言葉に形にする 【知識及び技能】 油粘土の扱い方や様々な彫刻作品を理解し表現させる【思考力、判断力、表現力等】 言葉から様々なイメージを構想し、それを基に立体作品を制作する【学びに向かう力、人間性等】 授業を振り返り、課題と成果をみつけて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてさせる	【指導項目】【教材】言葉(形容詞)からイメージを膨らませ、油粘土で抽象形態の立体を作成させる 【一人一台端末の活用】 作成した立体物を様々な角度から写真を撮らせ、イメージする形態に近づくように制作させる	○			○	【知識・技能】 油粘土の扱い方や様々な彫刻作品を理解し表現できている 【思考・判断・表現】 言葉から様々なイメージを構想し、それを基に立体作品を制作している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業を振り返り、課題と成果をみつけて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてている	○	○	○	20
	表現/鑑賞 絵画：自画像制作(漫画の画風で描く) 【知識及び技能】 様々な漫画の表現を理解し表現させる【思考力、判断力、表現力等】 漫画の画風を会得し、それを基に自画像を描かせる【学びに向かう力、人間性等】 授業を振り返り、課題と成果をみつけて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてさせる	【指導項目】【教材】既存の漫画の作者、画風を調べる。その画風を応用し自分自身の自画像を描かせる 【一人一台端末の活用】 既存の漫画の作者、画風などについて調べさせ、パワーポイント等にまとめさせ、発表しクラスで共有する	○			○	【知識・技能】 様々な漫画の表現を理解し表現している 【思考・判断・表現】 漫画の画風を会得し、それを基に自画像を描いている 【主体的に学習に取り組む態度】 授業を振り返り、課題と成果をみつけて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてている	○	○	○	18
										合 計	78

東京都立世田谷泉 高等学校 令和5年度 教科： 芸術 科目： 音楽演習

教科： 芸術 科目： 音楽演習 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 第1 年次 I部： II部：① III部：②

教科担当者： ① ② ③ ④ ⑤ ⑥

使用教科書： ()

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】 音楽に関する専門的内容について理解し、表現するために必要な技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 音楽に関する専門的な知識や技能をもとに音楽の表現内容を解釈したり、表現意図をもって演奏できるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に音楽に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、音楽文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。

科目 音楽演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
楽譜を見るにあたっての知識を身につけ、初めての曲でも読譜できるようにする。	楽典の基礎知識を元に応用できるようにし、キーボード演習に結びつけられるようにする。	自ら読譜をして演奏を楽しむことにより、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A オリエンテーション 音名、音取り、リズム打ち キーボード基礎	・日本音名、英音名、ドイツ音名 ・音取り ・拍子の種類、リズム打ち ・キーボードの音の位置と基礎練習 ※高校生のための音楽研究ノート、プリント使用	【知識・技能】 ・音名について理解している。 ・拍子の種類について理解し、リズムを打つことができる。 ・キーボードを正しい姿勢で弾いている ・キーボードと音名の位置関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・楽譜から音名を読み取れる。 ・臨時記号をつけた場合にも応用できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうとしている。 ・意欲をもって練習に取り組んでいる。	○	○	○	14
	B 半音・全音、音取り、 音符・休符、リズム打ち キーボード基礎	・半音と全音の区別 ・音取り ・音符と休符の長さ ・リズム打ち ・キーボードの基礎練習 ※高校生のための音楽研究ノート、プリント使用	【知識・技能】 ・半音と全音の違いについて理解している。 ・音符と休符の長さを理解して、リズム打ちをしている。 ・指の使い方に注意しながら、練習している。 【思考・判断・表現】 ・音符や休符を見て、リズム打ちができる。 ・ハンドサインを見てある程度音の高さがわかる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうとしている。 ・意欲をもって練習に取り組んでいる。	○	○	○	12
	C 音程、音取り キーボード基礎	・音程の種類 ・聞き取り練習 ・キーボードの基礎練習 ※高校生のための音楽研究ノート、プリント使用	【知識・技能】 ・音程のしくみについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・音を聞き取って、音の高低の感覚をつかめる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうとしている。 ・意欲をもって練習に取り組んでいる。	○	○	○	14
	D 音程、音取り、音階と調 キーボード応用	・音程の種類 ・聞き取り練習 ・音階のしくみと種類 ・調と調号 ・キーボードでの音階練習 応用練習 ※高校生のための音楽研究ノート、プリント使用	【知識・技能】 ・音程のしくみについて理解している。 ・音階のしくみについて知り、調との関係についても理解している。 【思考・判断・表現】 ・臨時記号のついて音程についても自分で考えて音程がわかる。 ・ハ長調の音階を他の調にも応用できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうとしている。 ・意欲をもって練習に取り組んでいる。	○	○	○	14

東京都立世田谷泉 高等学校 令和5年度 教科： 芸術 科目： 歌唱

教科： 芸術 科目： 歌唱 単位数： 2 単位

対象年次・講座：第1 年次 ① ③

教科担当者： ① ② ③ ④ ⑤ ⑥

使用教科書： (なし)

- 教科 芸術 の目標：
- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 歌唱 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、言葉の特性と曲律に応じた発声との関わりについて理解している。 【技】姿勢や呼吸などの身体の使い方、曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱で表現している。	音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもっている。	言葉の特性や声にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
前期	A オリエンテーション、日本の歌① 【知識及び技能】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解する。身体の使い方、曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付ける。【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもってどのように歌うかについて考える。【学びに向かう力、人間性等】音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもつ。	◆姿勢や呼吸などの身体の使い方を知る。 ◆自分の声と発声のしくみを知る。 ◆歌譜、視唱。 ◆日本語の抑揚や間、語感、歌詞としてのまとまりが旋律の流れやフレーズにどのように表されているかについて。「コールユーブンゲン」「コンコーネ」「花は咲く」「花」「荒城の月」ジブリ作品の楽曲、等	○			○	【知識及び技能】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解する。身体の使い方、曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付けている。【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもってどのように歌うかについて考えている。【学びに向かう力、人間性等】音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもっている。	○	○	○	20
	B ヨーロッパの歌①[イタリア] 【知識及び技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解する。曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱で表現する。【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもつ。【学びに向かう力、人間性等】イタリア語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもつ。	◆イタリア語の言葉の特性と旋律やリズム、曲の構成などの関わりについて。 ◆言葉の抑揚や言語のもつ質感。	○			○	【知識及び技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱で表現している。【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもっている。【学びに向かう力、人間性等】イタリア語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもっている。	○	○	○	16
	C ヨーロッパの歌②[ドイツ・フランス] 【知識及び技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解する。曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱で表現する。【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもつ。【学びに向かう力、人間性等】ドイツ語やフランス語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもつ。	◆ドイツ語やフランス語の言葉の特性と旋律やリズム、曲の構成などの関わりについて。 ◆アクセントや子音・母音の扱い、語感の違い。 ◆言葉の抑揚や言語のもつ質感。	○			○	【知識及び技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱で表現している。【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもっている。【学びに向かう力、人間性等】ドイツ語やフランス語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもっている。	○	○	○	12
後期	F映画音楽・ミュージカル 【知識及び技能】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりを理解する。身体の使い方、曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付ける。【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもってどのように歌うかについて考える。【学びに向かう力、人間性等】オペラという総合芸術において物語と音楽がどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響を合せて発展してきたかに関心をもつ。	◆総合芸術における音楽の魅力。 ◆物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか。 ◆音楽と他の文化が互いにどのように影響を合せて発展してきたかの考察。	○			○	【知識及び技能】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりを理解している。身体の使い方、曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付けている。【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもってどのように歌うかについて考えている。【学びに向かう力、人間性等】オペラという総合芸術において物語と音楽がどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響を合せて発展してきたかに関心をもっている。	○	○	○	14
	C オペラ 【知識及び技能】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりを理解する。身体の使い方、曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付ける。【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもってどのように歌うかについて考える。【学びに向かう力、人間性等】オペラという総合芸術において物語と音楽がどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響を合せて発展してきたかに関心をもつ。	◆総合芸術における音楽の魅力。 ◆物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか。 ◆音楽と他の文化が互いにどのように影響を合せて発展してきたかの考察。	○			○	【知識及び技能】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりを理解している。身体の使い方、曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付けている。【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもってどのように歌うかについて考えている。【学びに向かう力、人間性等】オペラという総合芸術において物語と音楽がどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響を合せて発展してきたかに関心をもっている。	○	○	○	16
合計											78

東京都立世田谷泉 高等学校 令和5年度 教科： 芸術 科目： デッサン

教科： 芸術 科目： デッサン 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 第1/2 年次 ① ② ③

教科担当者： ① ② ③ ④ ⑤ ⑥

使用教科書： (なし)

- 教科 芸術 の目標：
- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解すると共に、意図に基づいて表現するための技能を身に着ける。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることが出来る。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目 デッサン の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
表現材料の特性を生かせるよう理解を深めると共に、対象を深く観察したことを基に表現を工夫して的確に表すことが出来る。	深い観察を通して、対象のイメージや空間を把握し、美しさを発見し、その形体や色彩、材質感などの表現が出来る。	主体的に対象を見つめ考察を深めたり、表現材料などを研究し取り入れたりするなど、造形表現を追求している。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		知	技	発	鑑						
前期	表現/鑑賞「幾何形体デッサン」鉛筆デッサン【知識及び技能】デッサンの姿勢や用具の使用方法を学び描画方法の理解を深める。【思考力、判断力、表現力等】観察を通して形体の理解を深め、創造的に構想する。【学びに向かう力、人間性等】鉛筆の特性を知り、主体的に制作に取り組む。	【指導事項】幾何形体デッサンを通してデッサンの基本的な考え方、描き方、道具の使用方法について学ぶ。 【教材】プリント、画用紙、鉛筆デッサン用具、BYOD端末 【一人1台端末の活用】基本的なデッサン用語や鉛筆の削り方などを映像を視聴して理解する。	○	○				○	○	○	10
	表現/鑑賞「グレースケール」鉛筆【知識及び技能】面や明度を理解し、鉛筆を用いてグラデーションを描く。【思考力、判断力、表現力】表現の意図を理解し、特質を理解して描画する。【学びに向かう力、人間性等】描画方法を理解し、作品制作に主体的に取り組む。	【指導事項】グレースケールを通して光源の描き方、道具の使用方法について学ぶ。 【教材】画用紙、面取り石膏像プリント、鉛筆デッサン用具、BYOD端末 【一人1台端末の活用】共有画像を基にグラデーションと色彩の関係を理解する。	○	○				○	○	○	8
	表現/鑑賞「石膏デッサン」木炭【知識及び技能】木炭の特性を理解し、深く観察して対象を描く。【思考力、判断力、表現力】表現方法を理解し、特質を理解して描画する。【学びに向かう力、人間性等】描画方法を理解し、主題を生成し、作品制作に主体的に取り組む。	【指導事項】木炭デッサンを通して石膏像の描き方、道具の使用方法について学ぶ。石膏デッサンから造形的美しさを理解し、表現する。 【教材】石膏像、木炭紙、木炭デッサン用具、BYOD端末 【一人1台端末の活用】共有画像を基に石膏像の歴史と素描表現の関係を理解する。作品制作記録。			○	○		○	○	○	20
後期	表現/鑑賞「静物デッサン」鉛筆【知識及び技能】静物モチーフを通して、空間を表現する。【思考力、判断力、表現力】静物モチーフの特性を理解し、イメージを表現する。【学びに向かう力、人間性等】表現材料を工夫し、個性を生かしながら表現に取り組む。	【指導事項】静物デッサンを通して空間表現の描き方、形態の成り立ちについて学ぶ。身近なモチーフから造形的美しさを理解し、表現する。 【教材】静物モチーフ、画用紙、鉛筆デッサン用具、BYOD端末 【一人1台端末の活用】静物デッサンの資料の解説。作品制作記録。	○	○				○	○	○	22
	表現/鑑賞「校舎デッサン」木炭、鉛筆【知識及び技能】建築物の構造を深く観察して理解する。【思考力、判断力、表現力】表現方法を工夫し、表現材料の特質を理解して描画する。【学びに向かう力、人間性等】描画方法を理解し、主題を生成し、作品制作に主体的に取り組む。	【指導事項】校舎に対して造形的な視点を持って観察し、造形的美しさや空間描写を表現する。 【教材】画用紙、木炭紙、デッサン用具、BYOD端末 【一人1台端末の活用】描画する場所を撮影し、端末で共有。作品制作記録。			○	○		○	○	○	18
合計										78	

東京都立世田谷泉 高等学校 令和5年度 教科： 芸術 科目： 発展デザイン

教科： 芸術 科目： 発展デザイン 単位数： 2 単位

対象年次・講座：第1 年次 I部：① 1～2年次 II部：② 1～2年次 III部：③ 1～2年次

教科担当者： ① ② ③ ④ ⑤ ⑥

使用教科書： (なし)

- 教科 芸術 の目標：
- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解すると共に、意図に基づいて表現するための技能を身に着ける。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることが出来る。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目 発展デザイン の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
表現の目的やコンセプトを自分で考え、材料や用具の特性を理解し、制作の手順を考え、構想のイメージを的確に表現出来ている。	デザインの機能や効果、デザインを受け取る側のこと想像し、創造的な表現の構想を練ることが出来る。	飾る、伝える、使う等のデザインの目的や条件、美しさを考え、主題を生成して取り組んでいる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		知	技	発	鑑賞					
前期	表現/鑑賞「自分キャラクター」【知識及び技能】キャラクターとして自分を表現したイラストを構想する。【思考力、判断力、表現力等】自分自身の個性をどのように相手に伝えるか考え、創造的に表現する。【学びに向かう力、人間性等】主題を生成し、創作活動に主体的に取り組む。	【指導事項】自分自身について客観的に考え考察し、相手に自分を伝えるためのオリジナルのキャラクターとしてイラストで表現する。 【教材】プリント、ワークシート、ペン、色鉛筆BYOD端末 【一人一台端末の活用】作品の構想を練るための資料を探す。	○	○	○	○	○	○	○	6
	表現/鑑賞「オリジナルラインスタンプ」【知識及び技能】実際に使われているラインスタンプを調べ、アイデアを考え構想する。【思考力、判断力、表現力等】相手と楽しくコミュニケーションをとれるスタンプをイメージし、イラストとして表現する。【学びに向かう力、人間性等】客観的な視点を持ち、主題を生成する。	【指導事項】ターゲットユーザーを構想し、楽しくコミュニケーションをとれるスタンプを考えデザインする。 【教材】プリント、ワークシート、ペン、BYOD端末 【一人一台端末の活用】実際に使われているラインスタンプを調べ、観察し、ターゲットユーザーや作品の魅力について考察する。	○	○	○	○	○	○	○	14
	表現/鑑賞「世田谷泉オリジナルキャラクター」【知識及び技能】色相の基礎基本を学んだうえで、学校についてリサーチを行い、学校のオリジナルキャラクターを構想する。【思考力、判断力、表現力】学校のイメージや特長を考え、かわいいキャラクターとして表現する。【学びに向かう力、人間性等】見る人に好感を持ってもらえるような主題を生成する。	【指導事項】色彩の基礎基本を学んだうえで、学校についてリサーチを行い、学校のオリジナルキャラクターを構想する。 【教材】プリント、ワークシート、BYOD端末 【一人一台端末の活用】学校のHPやその他資料を探す。	○	○	○	○	○	○	○	14
後期	表現/鑑賞「ロゴデザイン・ショップバックデザイン」【知識及び技能】ト色彩配色の基礎を学び、配色について理解を深める。【思考力、判断力、表現力等】お店の設定を自分自身で考え、配色や書体、形を使い主題を表現する。【学びに向かう力、人間性等】主体的に制作に取り組む。	【指導事項】「いずみ」というお店を自分で設定し、アクリル絵の具でロゴデザインとショップバックをデザインする。 【教材】プリント、ワークシート、アクリル絵具、筆、BYOD端末 【一人一台端末の活用】色彩の成り立ちや、種類、基本的な知識を端末を利用して学ぶ。	○	○	○	○	○	○	○	24
	表現/鑑賞「CDジャケットデザイン」【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】現代の生活にデザイン分野がどのように必要とされているかを考察する。【学びに向かう力、人間性等】自身が生きる現代の日本について、デザインの観点から興味を抱く。	【指導事項】好きな楽曲を選択し、歌詞やアーティストの個性が反映されたCDジャケットをデザインする。 【教材】プリント、ワークシート、ペン、BYOD端末 【一人一台端末の活用】歌詞やアーティストについて調べる。	○	○	○	○	○	○	○	20
合計										78

東京都立世田谷泉 高等学校 令和5年度 教科： 芸術 科目： メディア表現

教科： 芸術 科目： メディア表現 単位数： 2 単位

対象年次・講座：第1 年次 I部：① 1～2年次 II部：② 1～2年次 III部：③ 1～2年次

教科担当者： ① ② ③ ④ ⑤ ⑥

使用教科書： (なし)

- 教科 芸術 の目標：
- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解すると共に、意図に基づいて表現するための技能を身に着ける。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることが出来る。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目 メディア表現 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
様々なメディアにおける知識や特性を理解し、制作の手順を考え、構想のイメージを的確に表現出来る。	メディアを利用した表現の面白さや制作意図について考えるとともに、メディア文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	メディアを利用した文化について深く考え、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		知	技	発							
前期	鑑賞「アニメーションの成り立ち」【知識及び技能】アニメーションの原理や成り立ち、最新の技術までの歴史を学ぶ。【思考力、判断力、表現力等】様々なアニメーションの技法を鑑賞しアニメーションの面白さや制作意図を考える。【学びに向かう力、人間性等】アニメーションについて深く考え、主体的に学ぶとする。	【指導事項】アニメーションが動いて見える原理「仮現運動」について理解し、アニメーション文化の発祥から現代までの歴史を学ぶ。【教材】プリント、ワークシート、プロジェクトター	○			○				○	10
	表現/鑑賞「視覚玩具を作ろう」【知識及び技能】「残像」や「仮現運動」を体験的に理解する【思考力、判断力、表現力等】絵がどのように動くか考え動画を作る。【学びに向かう力、人間性等】主題を自分で生成し、主体的に表現する。	【指導事項】「残像」と「仮現運動」を利用したおもちゃソーマトロープとゾートロープを作る。【教材】プリント、ワークシート、ペン、色鉛筆。たこ糸、輪ゴム、黒画用紙【一人一台端末の活用】資料を探す。完成した作品を写真に取る。		○	○	○				○	10
	表現/鑑賞「切り紙アニメーションを作ろう」【知識及び技能】ストップアニメーションの技法を理解し創意工夫して制作する。【思考力、判断力、表現力等】制作過程を想像し、計画的に制作を行う。【学びに向かう力、人間性】主題を自分で生成し、主体的に表現する。	【指導事項】画用紙を使ってストップアニメーション制作する。【教材】プリント、ワークシート、画用紙、はさみ、ペン、色鉛筆コンバトカメラ【一人一台端末の活用】資料を探す。完成した作品のデータを保存する。	○	○	○	○				○	14
後期	表現/鑑賞「写真表現」スタジオ撮影【知識及び技能】写真の基礎基本を学びライティング、機材の使い方理解する。【思考力、判断力、表現力等】主題となるモチーフがどのように映るか想像し、撮影する。【主体的に鑑賞や撮影に取り組む】	【指導事項】写真家の市民講師の指導のもと、スタジオ撮影(物・人)を行う。【教材】一眼レフカメラ、フィルムカメラ、スタジオ機材、プリント、SDカード、BYOD端末【一人一台端末の活用】撮影終了後、作品をデータとして保存する。	○	○	○	○				○	8
	表現/鑑賞「配置とバランス」フォトブック【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】現代の生活にデザイン分野がどのように必要とされているか考察する。【学びに向かう力、人間性等】自身が生きる現代の日本について、デザインの観点から興味を抱く。	【指導事項】配置とバランスによって画面構成について学び、「私と○○」をテーマにオリジナルのフォトブックを制作する。【教材】プリント、ワークシート、ペン、SDカード、BYOD端末、コンバトカメラ、プリンター【一人一台端末の活用】写真を撮り、印刷、データを整理する	○	○	○	○				○	14
	表現「写真表現」校内撮影【知識及び技能】写真の基礎基本を学びライティング、機材の使い方を理解する。【思考力、判断力、表現力等】主題となるモチーフがどのように映るか想像し、撮影する。【学びに向かう力、人間性等】主体的に鑑賞や撮影に取り組む。	【指導事項】写真家の市民講師の指導のもと、フィルムカメラで校内スナップを撮影する(物・人)を行う。【教材】フィルムカメラ、フィルム、プリント	○	○	○	○				○	8
表現/鑑賞「写真表現」引き伸ばし作業【知識及び技能】暗室機材の使い方や現像手順を理解する【思考力、判断力、表現力等】自分の気に入った作品を選抜し、表現に合わせて引き伸ばす。【学びに向かう力、人間性等】主体的に現像作業や鑑賞に取り組む。	【指導事項】写真家の市民講師の指導のもと、前回撮影した写真を暗室で引き伸ばす。【教材】暗室機材、印画紙、現像液、エプロン	○	○	○	○				○	14	
										合計	78

